

障害のある人びとの福祉

2026



広島県

～はじめに～

- この冊子は、障害者福祉に関するさまざまな制度やサービス、相談窓口などをまとめたものです。広く皆様にご活用いただければ幸いです。
- 掲載内容について時点の記載がない場合は、令和8年4月1日現在の情報を基に作成しています。
- 市町によって事業内容が異なる場合や、事業を実施していない場合などがありますので、詳細は市町等の各窓口にお問い合わせください。
- 各項目の対象者については、次のとおり表示しています。

【身】 = 身体障害のある人が利用できるサービス
【知】 = 知的障害のある人が利用できるサービス
【精】 = 精神障害のある人が利用できるサービス
【難】 = 難病等の疾病がある人が利用できるサービス

表紙のマーク

あいサポートシンボル



障害のある人を支える「心」を2つのハートを重ねることで表現しています。後ろの白いハートは、障害のある人を支える様子を表すとともに、「SUPPORTER(サポーター)」の「S」を表現しています。

ベースとしている「橙色だいだいいろ」は、鳥取県出身で日本の障害者福祉に尽力された 糸賀一雄氏の残した言葉「この子らを世の光に」から「光」や、「暖かさ」をイメージするものとしています。

また、「だいだい(代々)」にちなみ、あいサポーター(障害者サポーター)が広がって、共生社会が実現されることへの期待も込められています。